

秋の奥羽山脈を横断 第56回奥羽横断駅伝競走大会

第56回奥羽横断駅伝競走大会は10月28日から30日まで開催されました。

由利本荘市役所をスタートし、ゴールの北上市役所までの117.0kmをたすきで繋ぐ同大会に東北各地から30チームが参加。秋の奥羽山脈を駆け抜けました。

一般の部に出場し、2日目の5区(道の駅錦秋湖～北上市役所和賀庁舎間)を走った高橋祐輔さん(23歳・相去)は「チームは総合4位で過去最高の成績。良い結果を残せてよかった」と喜びを語っていました。

北上市役所前に続々と選手がゴールしました



祝賀会のアトラクションでは黒岩鬼剣舞が舞を披露しました

地域に愛され10周年

親水公園お滝さん開園10周年記念式典

親水公園お滝さん開園10周年記念式典および祝賀会は6日、黒岩地区交流センターで開催されました。

同公園は、かつてあった水車小屋復活の機運が高まり、地域づくり総合交付金・わがまちづくり支援事業の支援を受け平成18年に水車小屋とあずまやを整備。現在は夏の風物詩となった「お滝さん水車まつり」の会場となるなど、地域住民に親しまれています。

式典後の祝賀会では、お滝さん踊りや黒岩鬼剣舞による舞が披露され、10周年を盛大に祝いました。

民俗芸能の楽しさを伝える

第7回秋の子どもみちのく芸能まつり

秋の子どもみちのく芸能まつりは3日、さくらホールで開催されました。

同イベントは、次世代を担う子どもたちによる民俗芸能の発表と交流を通し、民俗芸能の楽しさを伝え、後継者育成に繋がることを願い開催されています。

県内外から6団体190人が参加し、市内からは煤孫ひな子剣舞、口内町きらめき鬼剣舞、江釣子中学校滑田鬼剣舞が出演。演技を終えるごとに客席からは大きな拍手が起こっていました。

出演した煤孫ひな子剣舞。堂々とした演技を披露しました



受講者は、療育教室のさまざまな活動を体験・見学し、支援方法を学びました

療育教室の機能充実に繋げる

療育教室研修会

岩手県立療育センター主催の療育教室研修会は10月30日、こども療育センターで開催されました。

療育教室とは、発達支援が求められる乳幼児とその保護者への支援を目的とした教室です。同研修会には、県内の療育教室の関係者が参加。こども療育センターで行っている支援プログラムの体験や、分科会での情報交換を通して療育教室について学びました。

参加者の櫻井京子さん(大槌町)は「とても充実した研修会だった」と話していました。

県内外の作家、専門店が集う

Machibun Marche(町分マルシェ)

Machibun Marcheは10月30日、詩歌の森公園で行われました。

5回目となる同イベントは“暮らしを楽しく豊かにするモノ”をキーワードに平成26年から開催しています。県内外から農園や飲食店、工房など約60店が出店。来場者は秋晴れの空の下、食事や買い物を楽しんでいました。来場した千葉久美子さん(一関市)は「来たのは2回目。かごと人参を買った。いろいろな店を一カ所で見られるのが良い」と話していました。

来場者
さまざまなお店が並ぶ中、
買い物を楽しんで



プラ板に好きな色を塗ってキーホルダーを作る子どもたち

仮装で集まれ!

鬼の館ハロウィンイベント

鬼の館ハロウィンイベントは10月30日、鬼の館で行われました。

同館には魔法使いなどの仮装をした親子が訪れ、ハロウィンキーホルダーづくりや絵本の読み聞かせ、ミニコンサートを楽しみました。キーホルダーづくりでは、子どもたちがおぼけの絵に思い思いに色を塗り、作品を完成させました。参加した樋口湊士くん(3歳・むらさきの幼稚園)は「上手にできたよ。かつこいい!」と嬉しそうに話していました。

合言葉は「ダメ。ゼッタイ」

薬物乱用防止講演会

薬物乱用防止講演会は12日、日本現代詩歌文学館で行われました。

同講演会は、薬物の恐ろしさを理解し、薬物乱用のない社会環境をつくることを目的に開催されました。薬物依存症回復施設(一社)秋田ダルク代表理事の平原薫さんは、薬物に手を染めてしまった人の状況や、薬物依存者を取り巻く社会の課題などについて自身の体験を交えながら講演。参加者は、薬物や薬物依存症についての理解を深めました。

薬物について、
平原さんが講演を行いま



冬に向け、岩崎地区交流センターに除雪機が配備されました

宝くじの助成金で地域振興

岩崎地区自治振興協議会が除雪車を購入

岩崎地区自治振興協議会(高橋勝会長)は、地域住民の安心で安全な生活環境を整備するため、宝くじの助成を受けて除雪機1台を購入しました。

除雪機は14日に、岩崎地区交流センターに納品。同地区交流センターや、一人暮らしのお年寄りなど自分で雪払いができない人の除雪に使用されるほか、地域の人へ貸し出される予定です。

高橋会長は「高齢者など皆さんが安全で安心に生活できるように活用していきたい」と話していました。